

【市議会議員候補 中村やすおの主張・政策】

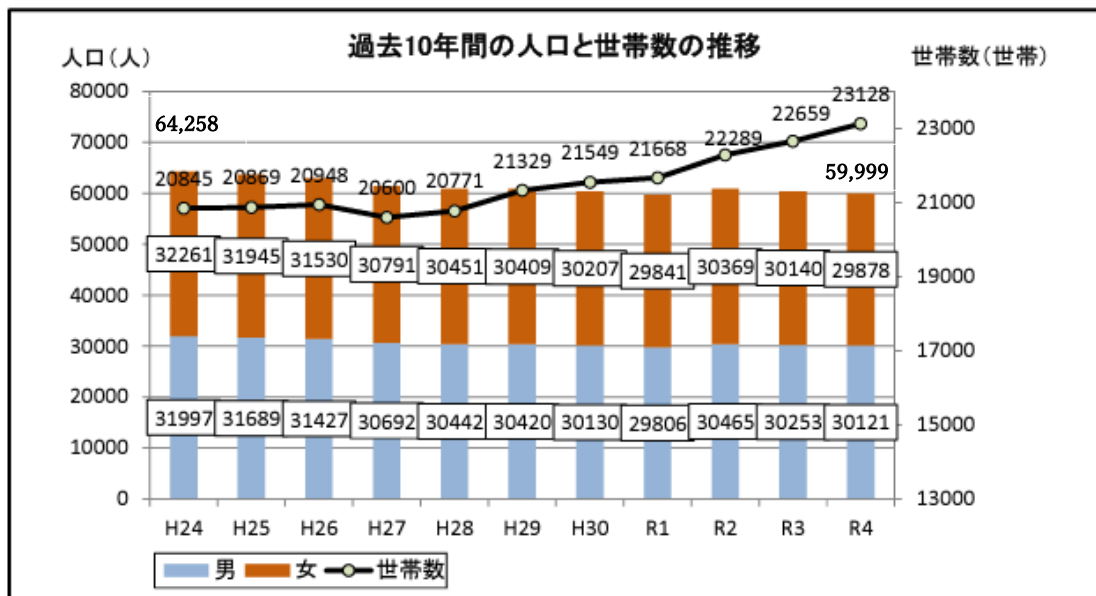
(1) 選挙公約の全体方針

常総市の人口減少に歯止めをかけ、財源を確保し、県西地域の活性化を促します

(2) 常総市を取り巻く環境

① 常総市の人口と世帯数の推移

- ・人口は、右肩下がり傾向にあります。
- ・平成 18 年の合併当時、66,107 人の人口であったが、令和 4 年には、60,000 人を割っています。
- ・一方で、世帯数が増えており、1 世帯当たりの世帯人数は減少傾向にあります。



	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4
総数	64,258	63,634	62,957	61,483	60,893	60,829	60,337	59,647	60,834	60,393	59,999
男性	31,997	31,689	31,427	30,692	30,442	30,420	30,130	29,806	30,465	30,253	30,121
女性	32,261	31,945	31,530	30,791	30,451	30,409	30,207	29,841	30,369	30,140	29,878
世帯数	20,845	20,868	20,948	20,600	20,771	21,329	21,549	21,668	22,289	22,659	23,128

【出典】常総市ホームページ 令和 4 年度版統計書 より

②常総市の工業の状況

○従業者規模別事業所数等

- ・従業員数や製造品出荷は、右肩上がりの増加傾向にあったが、コロナ禍で停滞しました。
- ・300人未満の事業者は減少傾向にあり、300人以上の事業所は増加傾向にあります。

年次	区分	事業所数			従業者数(人)			現金給与総額 (万円)	製造品出荷額等 (万円)	
		総数	従業者規模		総数	男	女			
			4~29人	30~299人						300人~
平成22年		263	181	77	5	12,099	7,624	4,475	4,493,878	39,619,997
平成24年		256	174	77	5	12,101	7,568	4,533	4,595,174	39,469,072
平成25年		252	172	74	6	11,982	7,381	4,601	4,378,945	39,875,200
平成26年		247	167	74	6	11,676	7,366	4,310	4,484,887	42,355,641
平成29年		234	149	78	7	12,102	7,676	4,426	4,701,341	43,517,951
平成30年		233	146	79	8	12,751	8,103	4,648	4,961,942	47,740,661
令和元年		233	147	77	9	13,082	8,253	4,829	5,126,723	48,219,658
令和2年		234	153	72	9	12,669	8,000	4,669	5,069,707	46,001,389

○県内と各市の工業状況

- ・茨城県は、従業員数、製造品出荷額で全国上位にあり、工業の盛んな県です。
- ・常総市は、県内では7位に位置していますが、今後、さらなる成長が期待できます。

2020年工業統計調査結果(茨城県結果)

2020年工業統計調査結果 (茨城県・従業者4人以上の事業所)

- ・事業所数 4,927事業所 (全国順位 12位)
- ・従業者数 27万2,191人 (全国順位 7位)
- ・製造品出荷額等 12兆5,812億円 (全国順位 7位)

いばらき統計情報ネットワーク
「茨城の工業 (2020年工業統計調査結果報告書)」より

順位でみる常総市

製造品出荷額等[4人以上の事業所](百万円)

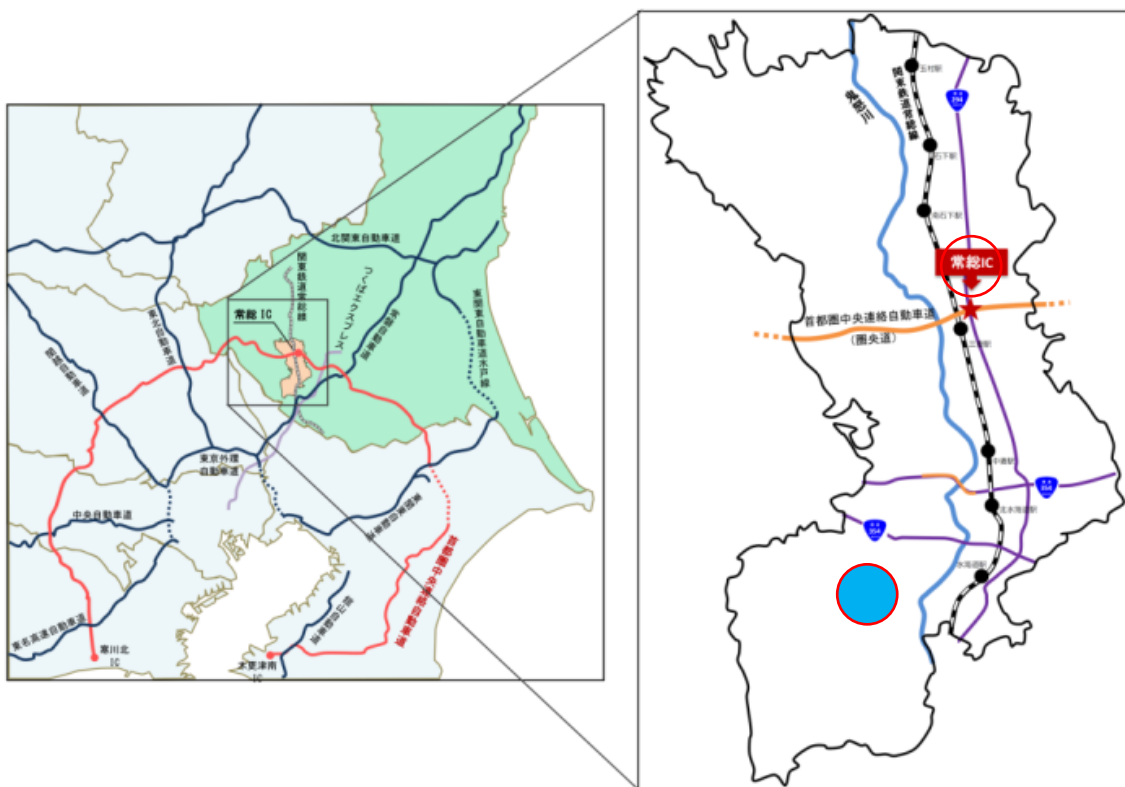
1	神栖市	1,532,240
2	古河市	1,197,815
3	ひたちなか市	1,049,203
・		
7	常総市	460,014
・		
44	利根町	5,291

令和元年
茨城県政策企画部統計課(令和4年)「市町村早わかり」より

【出典】常総市ホームページ 令和4年度版統計書 より

③常総市の立地と地理的な優位性

- ・首都圏から 50～55 キロメートル圏内に位置し、大部分が圏央道の内側に位置します。
- ・市の東側には道の駅を中心とした「アグリサイエンスバレー事業」が注目を集めています。
- ・市の西側には、南北に工業団地が広がり、常総 IC 谷和原 IC にも近く物流に便利です。



【出典】常総市ホームページ 常総インターチェンジ周辺関連事業 より

(3) 常総市発展に向けた課題

- ①豊かな市財政の実現、税収の確保
- ②人口増を目指すための事業の実現
- ③子供や若い夫婦が、希望を持てる社会の実現
- ④住みよい街の開発

(4) 政策

- ①坂手町内守谷町に工業団地を誘致し、市の財政を豊かにします。
～工場誘致により、地方税の1つである固定資産税の税収の増加を目指します～
 - ・工業団地の造成で、約 2.5～3 億円の増収を図り、市の財政を豊かにします。
 - ・坂手守谷地区に開通した西幹線道路の沿線に、約 10 万坪分の工業団地を作ります。
 - ・工場用地として、西幹線道路の西側に約数万坪、東側に 1 万坪以上を計画します。

【別紙資料 3/1 中村安雄活動報告より】

数字は、常総市内の参考税額です

区域	1㎡当たりの 土地固定資産税	5,000㎡の 土地固定資産税	3,000㎡の 建物固定資産税	合計
畑	0.9円	4,500円	－	4,500円
田	1円	5,000円	－	5,000円
山林	0.5円	2,500円	－	2,500円
工場用地	125円	625,000円	－	2,875,000 円
工場建物	750円	－	2,250,000円	

(表内の計算)

- ・畑 5,000㎡の固定資産税は、 $5,000\text{㎡} / 1,000\text{㎡} \times @900 = 4,500\text{円}$
- ・工場用地になると、土地の固定資産税は $@125/\text{㎡}$ となり 625,000円 / 5,000㎡
そこに延べ床面積 3,000㎡の工場を建設すると、建物の固定資産税は $@750/\text{㎡}$ になるので、
2,250,000円 / 5,000㎡となり、**合計で 2,875,000円に増加します。**
- ・これによると、約 10 万坪の工業団地の造成で約 1.9 億円の増収が見込まれ、さらに、以下の雇用
促進施策により、**最終的には、2.5～3 億円の増収が期待されます。**

②雇用の更なる促進を図り、就業機会を増やします

- ・工場誘致にあたり、**企業立地奨励金制度** (※) ・**雇用拡大奨励金制度** (※※)を活用し、雇用
促進に努めます。

※企業立地奨励金制度

- 新設：土地・家屋の新設投資 1 億円以上を行う企業の場合、新規雇用者 5 名以上で、奨励
金 2,000 万円を上限に交付する (3 年間で最大 6 千万円)。
- 増設：家屋の取得費 5,000 万円以上を行う企業の場合、新規雇用者 5 名以上で、奨励金
2,000 万円を上限に交付する (3 年間で最大 6 千万円)。

※※雇用拡大奨励金制度

交付上限 500 万円を支給します (1 年以上の勤務など条件あり)

上記の工場誘致、並びに雇用促進施策により、約 700 名以上の雇用を生み出します。

③「道の駅」周辺のエリア 450ha を開発

- ・「道の駅」周辺のエリア 450ha を開発に尽力して、商業・サービス業の活性化を図り、
2.5～3 億円の増収を図ります。

④コミュニティバスを運行します。現在、4 ルートを計画中。

- ・別紙資料 3/1 中村安雄活動報告を参照。

⑤水海道有料道路の通学時間帯の無償化事業の推進

- ・約 4,000 万円の年間予算のうち、50%にあたる 2,000 万円の予算を確保します。

⑥住みよい街の実現に向けた柔軟な土地利用の推進

- ・市内では区域指定のため、場所によっては家を建てられないエリアもあります。
住み良いまちづくりを目指し、柔軟な土地利用にも尽力します。

－以上－

2023 年 3 月 吉日

常総市議会議員候補 中村やすお